

タイトル	著者名	内容紹介
<p>第167回茶川賞受</p> <p><b>おいしいごはんが 食べられますように</b></p>	高瀬 隼子	<p>「二谷さん、わたしと一緒に、芦川さんにいじわる しませんか」心をざわつかせる、仕事+食べもの+恋愛小説。</p>
<p><b>よって件のごとし</b></p>	宮部みゆき	<p>三島屋の変わり百物語、休止前の最後の語り手は、 商人風の老人と目の見えない彼の妻だった。老人は かつて暮らした村でおきた「ひとでなし」にまつわる 顛末を語りだす――。</p>
<p><b>朽ちゆく庭</b></p>	伊岡 瞬	<p>中堅ゼネコン勤務の父・陽一は仕事でトラブルを抱え、 母・裕実子は勤め先の上司と不倫関係に。そして、 中学生の真佐也は不登校が続く……。それぞれが 秘密を抱える「家族」の行く末とは。壊れゆく家庭を 描く“危険”なサスペンス長編。</p>
<p><b>蹴れ、彦五郎</b></p>	今村 翔吾	<p>今川義元の嫡男 今川彦五郎氏真はなぜ名家を没落 させたのか。蹴鞠と歌を何より好んだ戦国武将が天下 人に見せた正しき矜持とは？</p>
<p><b>こいごごろ</b></p>	畠中 恵	<p>「また会いたい」最後に唯一それだけを願っていた。 永遠の命を持つはずの妖にとっての最後とは――</p>
<p><b>財布は踊る</b></p>	原田 ひ香	<p>専業主婦のみづほは、夢の実現の為生活費を切り詰め、 毎月二万円を貯金していた。夢を実現した喜びも束の間、 夫に二百万円以上の借金があることが発覚し――。様 々な事情で「今より少しお金がほしい」人達の、切実な 想いと未来への希望を描く！</p>
<p><b>先祖探偵</b></p>	新川 帆立	<p>「あなたのご先祖様を調査いたします」探偵事務所を ひらいている風子のもとには、さまざまな先祖の調査 依頼が舞い込む。調査に赴いた先で美味しい料理を 楽しみながら、マイペースで仕事をしている風子。 いつか、自らの母を探したいと思いながら――</p>
<p><b>その本は</b></p>	ヨシタケシンスケ 又吉直樹	<p>目が悪くなった本好きな王様が、2人の男を城に呼び 「世界中をまわって『めずらしい本』の話聞き、わしに 教えてくれ」と言った。旅に出た二人の男は、たく さんの本の話を持ち帰り、夜ごと王様に語り出した。</p>